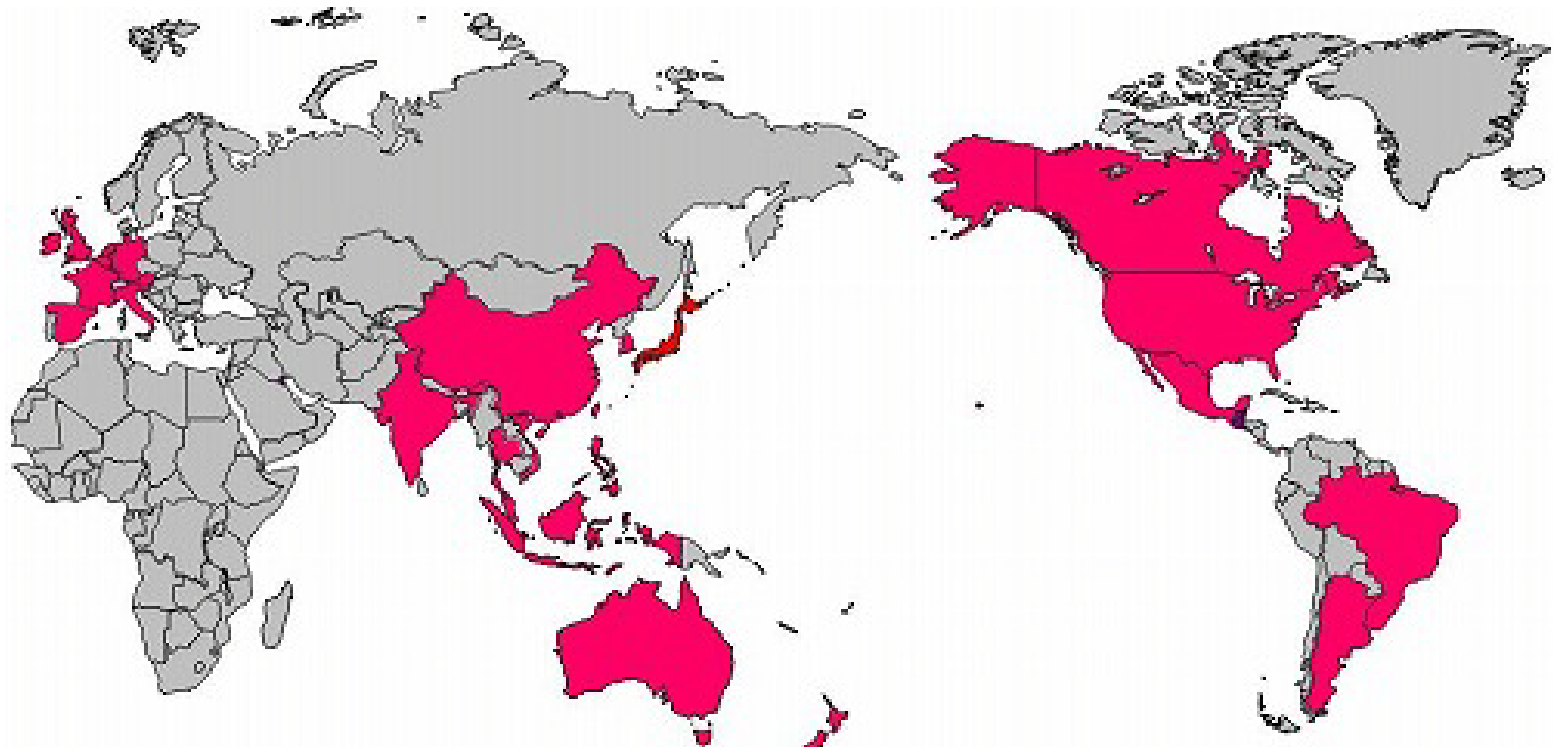


**平成23年3月期 第2四半期決算
～今後の経営展望について～**

世界乳製品販売本数1日平均“3,000万本”突破 **Yakult**



(図1)

【販売本数内訳】(2010.6月 月間実績)

地域	販売本数	前年比
国内(日本)	9,727	105.7%
海外(全体)	20,495	106.6%
アジア・オセアニア地域	14,633	106.5%
米州地域	5,163	106.6%
欧州地域	699	107.1%
合計(世界)	30,222	106.3%

(図2)

(単位:百万円)

	実績 (うち為替影響額)	前年比	計画対比 (5月14日発表)
売上高	156,679 (1,461)	108.3%	102.4%
営業利益	13,285 (453)	118.2%	132.9%
経常利益	16,506 (636)	116.9%	132.0%
当期純利益	8,129 (377)	122.5%	147.8%

※百万円未満切り捨て

平成23年3月期 通期業績予想(連結)



(図3)

(単位:百万円)

	通期修正予想	前年比	
売上高	307,000	105.6%	—
営業利益	21,000	110.6%	—
経常利益	26,500	107.2%	—
当期純利益	13,500	101.9%	—

※百万円未満切り捨て

(図4)

4月～9月における売上金額(単体)

単位:百万円

	売上高	前年比	参考:5月発表時 年間予想
乳製品	40,436	104.3%	102.2%
ジュース・清涼飲料	20,348	105.2%	95.8%

4月～9月における乳製品販売本数

単位:千本/日

	本数	前年比	参考:5月発表時 年間予想
合計	9,082	103.1%	101.0%
(ミルミル)	401	—	—

(図5)

ビフィズス菌ヤクルト株



菌の訴求



乳酸菌シロタ株

(図6)

「食品研究棟とエネルギー棟」が完成



コンセプト: 森の中の研究所

- ・食品素材から商品化までの一貫した研究開発機能
- ・商品発表後のフォローならびに国内外工場への技術支援機能
- ・多目的実験室を有す



研究開発のスピードアップと商品開発力の強化を図り、より一層品質安全性保証を重視した研究活動を推し進める

(図7)

〈兵庫三木工場〉

完成予想図(2013年春完成)



基本コンセプト

- (1) お客様の信頼に応える商品の質を追求した工場
- (2) 生産量と生産能力のバランスが取れた生産性の高い工場
- (3) 新製品および新規設備導入に対応可能な工場
- (4) 環境保全に取り組み、地域と共存出来る工場
- (5) お客様が生産設備や品質管理体制を見学出来る工場

概要

所在地: 兵庫県三木市志染町戸田字中尾
(兵庫情報公園都市)

敷地面積: 50,863.98 m² (15,386.35坪)

建築面積: 21,976.38 m² (6,647.86坪)

延床面積: 26,168.13 m² (7,915.86坪)

生産品目・能力: ヤクルト類原料液404万本/日

ソール・食べるヤクルトSHEs 20万本/日

ミルシル類 57万本/日

従業員数: 約170名

エルプラット成長の背景

1 進行・再発大腸がん治療

+

FOLFOX療法

+

XELOX療法

・1次療法として確立

・投与期間の拡大
・患者数の増

2 結腸がんの術後補助
化学療法(アジュバント)

+

標準的治療法としてFOLFOX療法の定着を図る

・スタンダード化

3 新たな適用拡大

胃がんP-Ⅲ展開中

(図9)

地盤固め

「リベシィ」の
モデルチェンジ

商品の優位性を強化

将来への種まき

「イキテル」
ブランドの立ち上げ

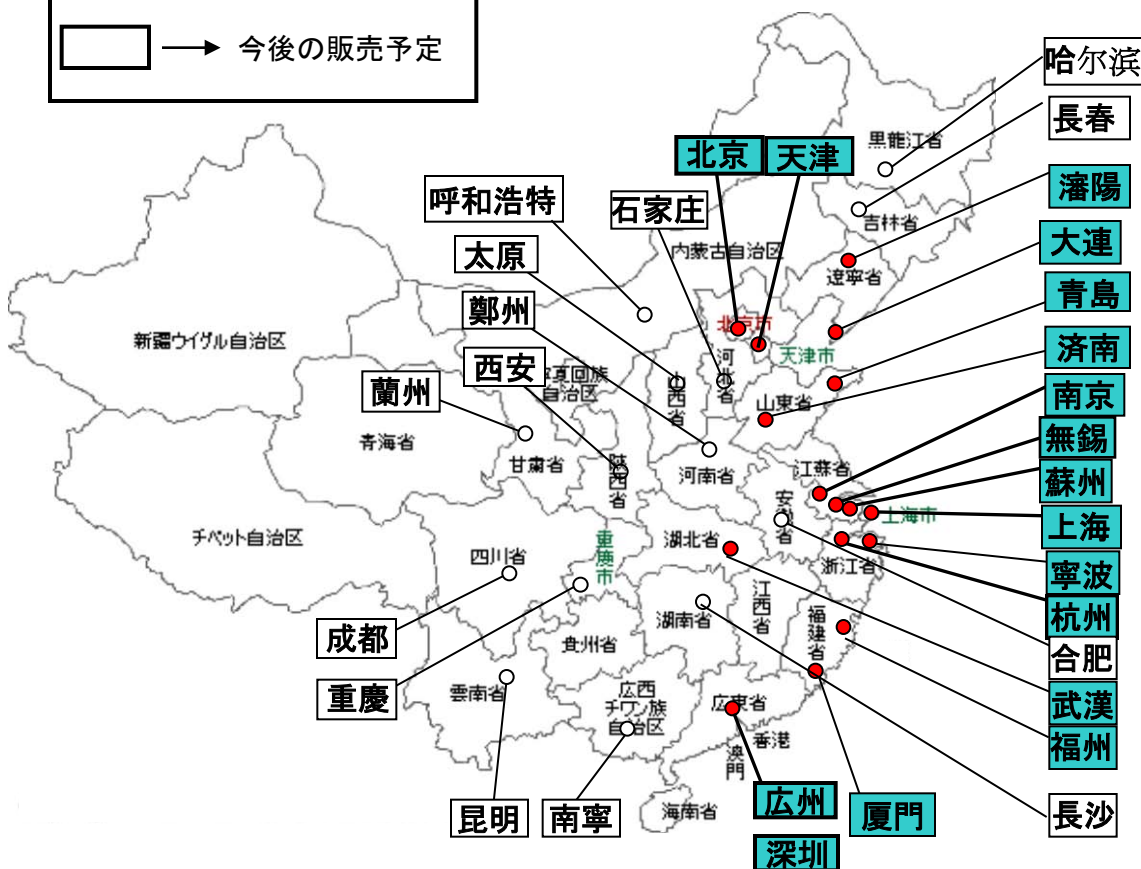
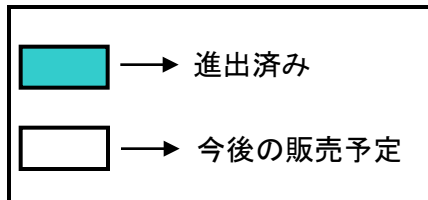
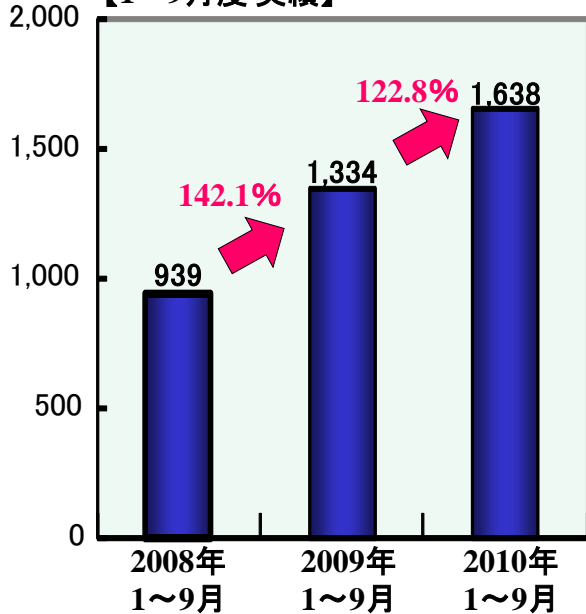
新チャネルの創造



〈中国〉

(図10)

(千本/日) 【1~9月度実績】



YL数	878	1,183	1,358
納品店舗数	19,985	26,656	33,001
社員数	884	1,117	1,382

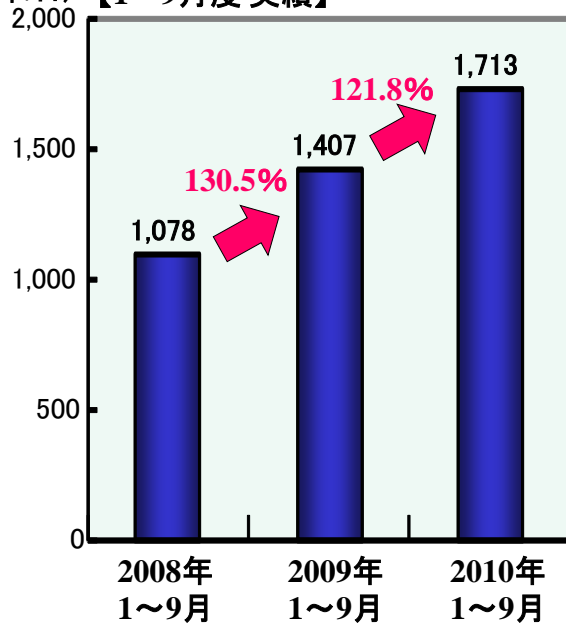
※体制は9月末現在

※新疆ウイグル自治区、チベット自治区、
青海省を除く全ての省をカバー

〈インドネシア〉

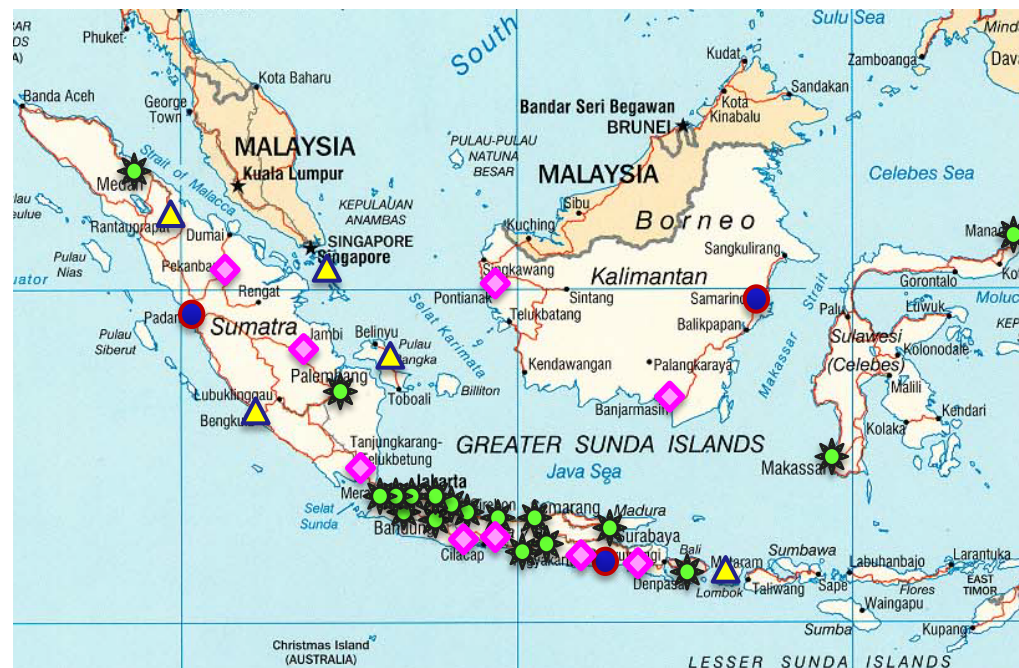
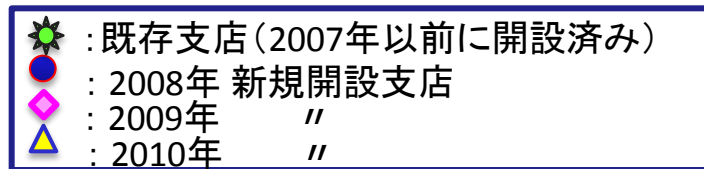
(図11)

(千本/日) 【1~9月度実績】



YL数	1,350	1,948	2,754
納品店舗数	67,285	65,204	77,118
社員数	1,256	1,854	2,156

※体制は9月末現在

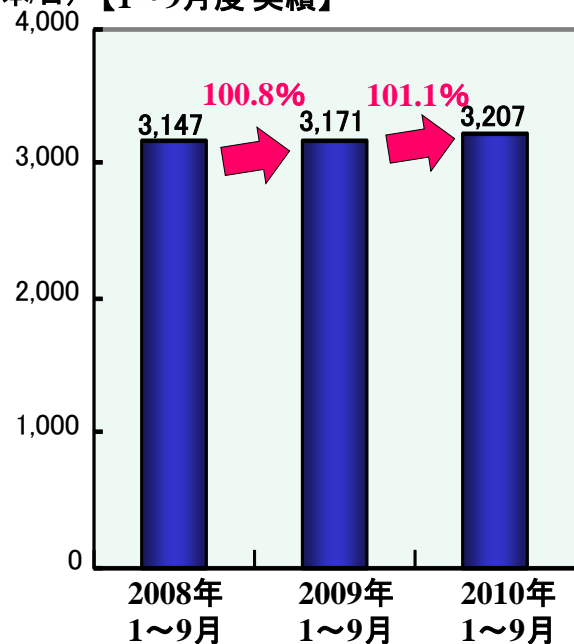


	2008年	2009年	2010年6月末 現在
総支店数	21	30	35
センター数	80	101	116
YL数	1,460	2,141	2,558

〈メキシコ〉

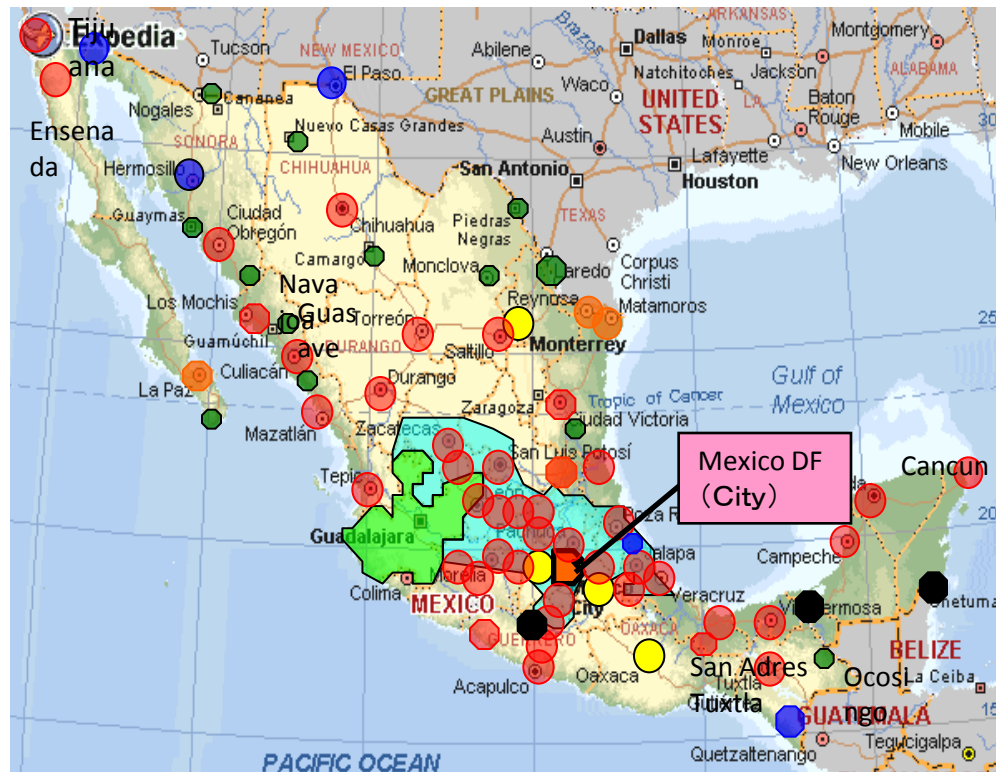
(図12)

(千本/日) 【1~9月度実績】



YL数	7,355	7,761	7,952
納品店舗数	14,963	12,013	14,226
社員数	2,462	2,624	2,754

※体制は9月末現在



凡例

- 営業所所在地
- グアダハラ販売(株)
- 代理店エリア
- 面カバーエリア
- 未進出主要都市 (小丸:10万台)
- 07進出都市
- 08進出都市
- 09進出都市

〈アメリカ〉

(図13)

ヤクルトカリフォルニア工場(仮)

【所在地】

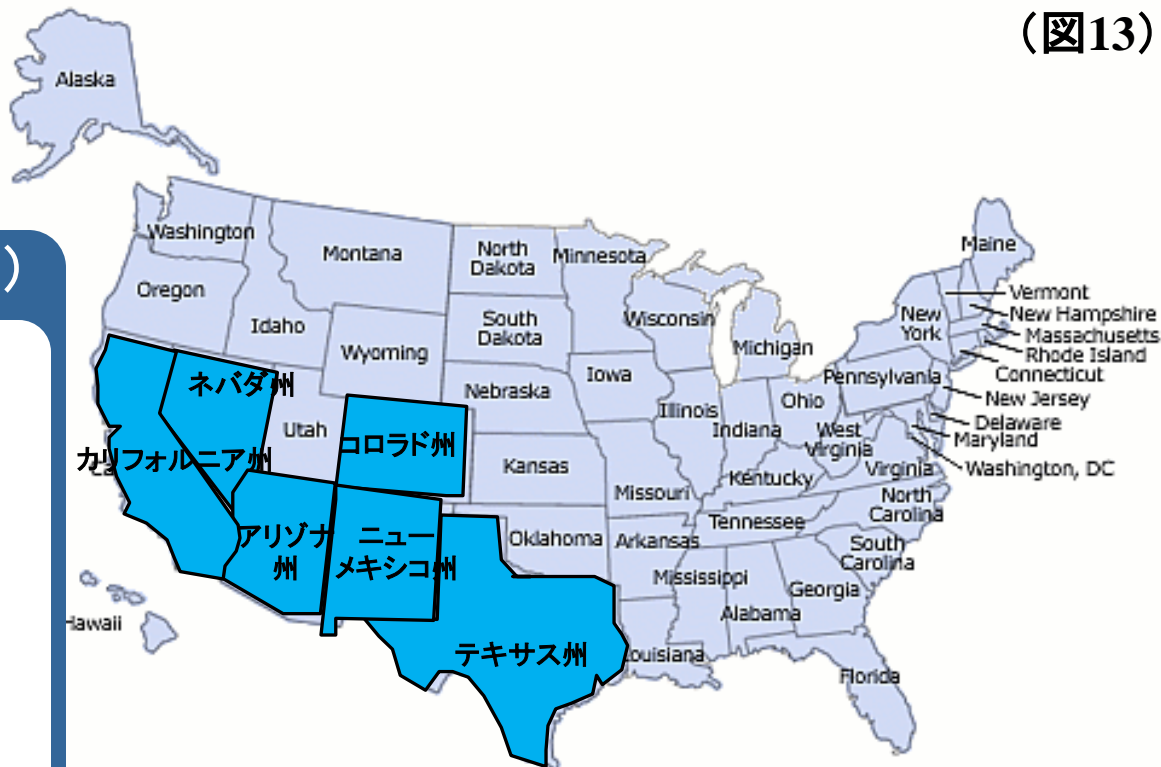
カリフォルニア州オレンジ郡
ファンテンバレー市

【面積】

約 35,700 m²

【生産能力】

初期は25万本/日
(最終的には76万本/日を予定)



■ 現在の販売エリア

コーデックス委員会(CODEX ALIMENTARIUS)とは

消費者の健康の保護、食品の公正な貿易の確保等を目的として、1962年にFAO(国連食糧農業機関)及びWHO(世界保健機構)により設置された国際的な政府機関であり、国際食品規格の作成を行っている。日本は1960年より加盟している。

発酵乳規格

- 1.発酵乳
- 2.濃縮発酵乳
- 3.フレーバード発酵乳

4.発酵乳を基にした飲料



新たなカテゴリー
(ヤクルトが該当)

ビフィズス菌測定 の 公定培地

(図15)

当社が開発した「TOS培地」

+

抗生剤のムピロシン



TOSムピロシン寒天培地

国際標準化機構 (ISO)

国際酪農連盟 (IDF)

} 標準法の
指定培地
として確定

背景

- ・ビフィズス菌は、生菌として摂取することで、保健効果が期待されるプロバイオティクスとして知られているが、これまで菌数検査の公定がなかった(はっ酵乳や乳酸菌飲料の成分規格は、国内では乳等省令により定められている)。
- ・ビフィズス菌による保健効果を保証する為に、「標準法」と呼ばれる統一した測定平法が必要であった。

インド国立・腸管感染症研究所による「ヤクルト」の長期飲用試験

研究の概要

- ・インドでは、5歳未満の小児が年間183万人亡くなっており、その死因の約13%が下痢症と報告されている。(Black REら,Lancet 2010. 375:1969-1987)
- ・本研究は、インド東部コルカタの下痢症の発症率の高い地域に居住する1~5歳の小児3,585人を対象とし、「ヤクルト」または、プラセボ飲料を1日1本、12週間継続飲用し、急性下痢症状の有無や糞便中の病原性微生物について調べたもの。

参考

下痢症状

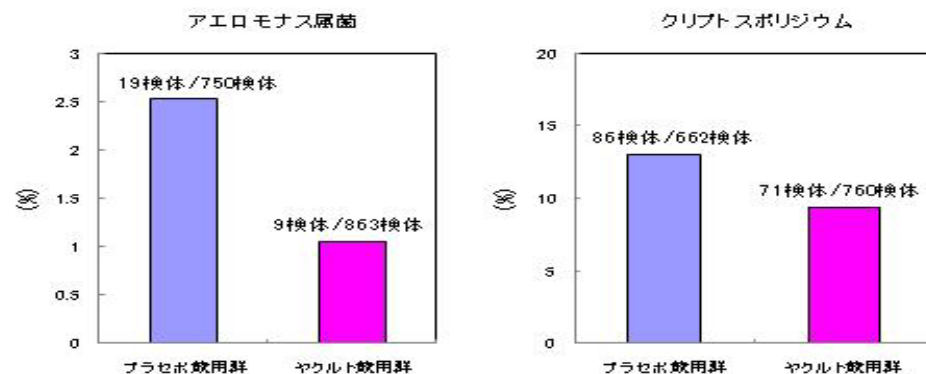
試験期間中の下痢発症者数ならびに下痢発症日数

	参加者数	下痢の発症率
「ヤクルト」	1,802	0.88*
プラセボ	1,783	1.029
全体	3,585	-

*; p<0.01, vs.プラセボ

病原性微生物

下痢便より検出された病原性微生物（アエロモナス属菌、クリプトスポリジウム）





ありがとうございました！！



当資料に掲載されている計画、見通しなどのうち、過去の事実以外は将来に関する見通しであり、不確定な要因を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因によりこれら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

当資料のいかなる情報も投資勧誘を目的としたものではありません。また、弊社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。万一、この資料に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いません。